

丸ほはん具店
電話 二八五三
工場 九五三
部業 九五三

磐城経済新報

発行日 五月十五日、二十五日
印刷所 大井川幸隆
福島市下町三番地
磐城経済新聞社
廣告料 五號十二字詰一行廿錢
場所指定十錢増
新聞定額 一部十錢 二部二十錢
一ヶ月二圓四十錢

内正一氏勇退 井上茂作氏断然出馬

一路必勝を期して

民政党内閣の極端なる産めに盡したる治績少なからばあるが、日常不斷に勉強業合理化は、徒らに金融資本、人格高潔にして利権に努力を惜まず、政治に経本家に媚び、地方産業の開走るが如き絶對になく、誠實に凡ゆる新思潮を研究し衆の生活を益々死のどん底に追ひやりつゝある。現内閣の財政に對する不平と咀呪が囂々として湧き上りつゝある今日、縣議選舉の切迫は正に大衆の之を大いに期待する處である。

大日本消防協會

會は井上氏の主唱に成れり。利権を求めず、清廉なる故にこそ井上氏は素貧漢だ。有権者諸君！井上茂作氏を見殺すことなく、討死させ處でなければならぬ。本年六十二才の井上氏で誤る勿れ。

縣議戰を闘ひ抜かんとする

磐城無産黨の陣容

「全協」系

常磐坑山労働者組合
日本共産黨の貯水池たり且つその目的遂行の爲に最近怖るべき組織の擴大を以て大衆の面前に公然たる巨姿を現はしつゝある『全協』は全國の加盟組合に對して秘密の『選舉闘争指令』を發したるもの、如く、既に常磐坑山労働者組合は、得意の非合法活動により、縣議戰を闘ひ抜かんとしてゐるらしい。

全國勞農大衆黨

石城支部
永年來單一無産政黨結成が叫び続けられ、今回、労働、大衆、の合同を見るに至つたことは目前の選舉戰を控へて大衆の要望の一端を果したとも言へやう。今同組合が表面的には常磐炭坑界より旗影を卷いたかや同黨磐城支部は、福島縣に見えらるもの、事實はこの聯合會の田中利勝君の『府選戰を通じて、組合の組織會本質』を究明せしめるに、×とフレットの販賣を初め高橋全協のインシアチーブによ忠廣君等が數度の選舉對策大いに活動地方民利益の爲つて提唱されたる『選舉闘争委員會を開催し準備に惱殺

社民黨

磐城支部

松本清之丞氏に決

近く演說會を開く

飽く迄合法的手段によつて農民の窮乏を救済すべく、産業民主主義の徹底を餘りに溢れたる正義感、期せんとするこの政黨は、遂に無産階級解放の爲に一他無産政黨と異り、議會主身を投じたのである、今や義的當選本位で進まんとして縣議戰を前に控へて衆望に押され、断然立候補の意を決した。

革命的政治的訓練なく、意識水準の全く低位な、磐城地方に於ては、社民黨はに福島炭坑のストライキに最も小市民に受けがよい、信賴されてゐる。

新聞屋の本質を素ッパ抜け

ザツとこんなもの……

新聞屋の本質を素ッパ抜け服迎合せぬ以前に於ては、目を設けて、新聞經營の裏面を長敬された立場にあつても偽りなく曝ばかんとす。然るに日本の金融資本が中小資本を併呑し、そして彼等が今日の如く國家權力と制覇を掌握するに至つて以來の新聞は、自己の主張、所信等を充分に傳へんとする處の自由を拘束し奪ひ去り、一から十まで金融ブルジョアジの有利な、由來——さいつて鹿爪らしく見得を切るやうだが——新聞は善なる、然して忠實な代辯者としての役目を果さぬも彼の論述する主張、その世御をすゝめる。

バツカス

とは何か

三丁目のカフエー

カフエー

バツカス

夜の平均三丁目の銀行を折れて行進すると、先づ黒猫次バツカスのチオンが強く通行人の眼を射る、私は何れのカフエーも好きだが、ホールの裝飾よりもサビの優雅で巧みなバツカスを眉氣したい。

信子！

恵美子！

敏子！

そして新入店の

君江！

といつた顔觸れ。何れも東京の一流カフエーで苦勞して来ただけに擦れ枯らした氣風も見せず凛として高い氣品を備へてゐる。銀座裏のグエトレスの様に股にウオッチを嵌めて、タイムをさかされる度に太股を露出させる様な卑猥なエロ、サーピスでは斷じてない、試みにカフエーマンの出御をすゝめる。

編輯室にて

大井川幸隆

小生の在平生活は、餘す氏の起伏は未だ確定されて
處、幾許もない。默鐘氏の居るやうだ。

後目を繼いで貧紙警城經濟
の經營に當つたもの、何一
つとして讀者に満足と與ふ
べき役目を果せなかつたこ
とは、小生の無能であるこ
とに外ならないと大いに自
恥してゐる。

來るべき縣議戦が終りを
告げる時、それは小生の出
る時に豫定してゐる前後
の事情を掬察され有志の切
に應援を望む處だ。

× × ×
默鐘氏は目下豊間の郷村
にあつて、著作に精勵して
ゐる。讀者諸君の刮目して
期待するに足るべき著書が
近刊されること、確信する

× × ×
誰が出る！
彼が出る！
と、推量憶測で勝手な立候
補詮議をやつてゐるが、立
候補者が案外豫想を裏切つ
て少なくなるらしいやうだ
民政黨で確實に出馬する
と目する、人に野崎、萩原
の兩氏があるのみで、若松
ら投書を送れ！

智謀才氣兼備の雄

高橋龜松君

—印象の一端—

綴の一瞬より身を起し
て遂に今日の立場を築き上
げた。

高橋龜松氏は正
に立志傳中の一人として數
へ上げるに足るべき人物で
ある。

記者は曾て七七支店長山
田勇太郎氏と高橋氏とを一
括して、いたく毒筆を振つ
たこともあつたが、對して
歡談を交はすに至つて以來
一面非常に敬服せられる
處が多い。

成程、氏は演壇等に於て
華々しく名論卓説を振ふこ
とは不得手であるかも知れ
ないが、座談に於ける氏の
態度、論調には人を惹き
つけ、傾けさせずには置かぬ魅
力を、穿つた真理とが常に
含まれてゐる。

然して政治的方面に於け
る氏は大衆を相手として煽
動せしむるが如き才能はな
い、一度、奥まつた茶室
に瞑想の結果、編み出され
た智略は、前記のそれにも
増して秀れたる策士として
とを祈る。

殘暑の砌り諸氏の御自愛を祈上候

蓮沼龍輔

移轉通知

我信用組合平庶民金庫は從來の十五丁目に於ては
執務上の狹隘を免れず今回左記へ移轉仕り候間此
段紙上に於て御通知申上候

平町二丁目

百〇七銀行平支店跡

信用組合平庶民金庫

平町田町 電話五二三番

高久病院

醫學士 高久忠雄
新瀉醫學士 赤羽菊雄
藥劑師 佐竹
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

一般内科診療

川井内科診療所

呼吸器病ばかりではありません

磐城平町南町六五 電話一八一番

醫學士 川井安子
女醫 川井安子

アマコ.タクシー

營業主任.....澤 正 路

電話 640 番



専門 皮膚病 専門 婦人病
専門 淋病 専門 梅毒
専門 疥癬 専門 皮膚科
専門 性病 専門 泌尿科
専門 外科 専門 内科
専門 小兒科 専門 婦人科
専門 皮膚科 専門 泌尿科
専門 性病科 専門 外科
専門 皮膚科 専門 泌尿科
専門 性病科 専門 外科

藤沼醫院

平町紺屋町

高木調髪所

平町新郵便局脇

高木貞雄

自動自轉車 自轉車
附屬 品 葬具一式

山光堂

福島縣平町四丁目 電話五五〇番

内科一般

難波醫院

醫學博士 難波
平町新川端(釜屋新宅向)
電話 五〇二番

多田井質店

多田井笑次郎
電話 五九一番

釜屋商店

和洋銅鐵金物問屋
平・五 電話九番九九番